

県サ連研修会・県サ連ブロック学習会

兵庫県手話サークル連絡会

〒650-0025 兵庫県神戸市中央区相生町2丁目2番8号 新神戸ビル2階
公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会内

助成事業の概要

県下7ブロック（北播・丹有・西播・但馬・阪神・東播・神戸）において学習会を開催。知識、手話技術等、聴覚障害者に関わる内容を広く学習する。

4月3日

豊岡市にて全体研修会を開催。日本で初めて創設された京都の手話サークルから講師を招き講演を実施、サークル活動の意義を学習する。

5月29日 北播ブロック

サークル例会時の学習方法の工夫について各サークルの状況を情報交換しながら学習する。

6月26日 丹有ブロック

地域のろうあ者との交流会を実施し、ろう者の生き生きとした手話に触れる。

7月24日 西播ブロック

「手話サークルが元気になる話」と題して講演を実施、手話技術向上のポイントやサークル活動の概念を学習する。

11月13日 阪神ブロック

「災害についての備え」のテーマで講演を実施。今後の防災や災害発生時の聴覚障害者支援等を学習する。

11月27日 但馬ブロック

「県サ連で得たもの」というテーマで講演を実施。県サ連の歴史や、経験を講演。今後の県サ連活動について学ぶ。

2月5日 東播ブロック

講演とワークショップを実施。表情を生かす豊かな手話表現を学習する。

2月26日 神戸ブロック

ろう講師を招き講演を実施。幼少期から現在に至るまでの体験等、ろう者の思いを語っていただく。

事業の成果

研修会、ブロック学習会を通して県下のサークルが元気に活動できるよう支援する団体としての目標は、ほぼ達成できたと考える。

又、サークルが聴覚障害者と共に活動をする場であることをあらためて確認することができる学習会となった。

聴覚障害者に対する知識や歴史から、表情豊かな手話学習、又、サークル活動について概念等たくさんのが学べた。

それに加え、今年度は東日本大震災に関連され、兵庫としての防災や今後の災害時の支援についても学習することとなった。

ボランティアの養成については各地域にて新たな参加者を増やすことができた。

ボランティアリーダー養成についても少しずつ成果が上がっていると考える。

更に質の高いリーダー養成のためには、もう一歩踏み込んだ集中型の学習が必要かと思われる。

<参加者の感想>

研修会：わが国に手話サークルが誕生して48年になる。聴覚障害者と手話サークルが共に活動をし、歩んできたこと等、当時の時代背景を知り、改めて聴覚障害者とのか

かわりを深く感じました。

北 播：手話サークルのマンネリ化を打破するための工夫、他のサークル例会の情報等、情報交換ができ、聴覚障害者と共に楽しめるサークル作りが必要ではないかと感じた。

丹 有：東日本大震災が起こって自分たちの地域で何ができるか？ 17年前の阪神淡路大震災の教訓が生かされているのか？ 今後も継続して取り組んでいかなければならないと感じた。

西 播：ろうあ者に分かりやすい手話表現はどのように身につけていけばよいのか？ 目からうるこの話であった。

阪 神：災害についての心構えや、地域でのハザードマップ作りの取り組み等、積極的に、向き合え、よかった。

但 馬：県サ連の位置づけや手話サークルの役割や魅力について学べた。

東 播：手先だけでなく、身体全体を使って手話で話す大切さを学んだ。

神 戸：ろうあ者の人生、ろうあ運動の歴史を知ること、手話通訳制度の大切さや、手話サークル活動の大切さを感じた。

今後の展開

兵庫県下広域での学習会が開催でき、各地域の要望に合わせ、内容を検討することで、地域にボランティアリーダーを養成できている成果も実感している。特に防災についての学習や手話サークルを元気にし、活動を活発にしようとする学習がその代表といえる。

都市部と郡部では地域によりサークル活動や学習の取り組みに対する考え方にはまだまだ格差がある。地域のボランティアリーダー養成と、より一層の意識向上が今後の課題であるとする。